

表3 既出問題の出題率

	再出題	類似	組み合わせ 類似	計
必須	0	10	3	13
割合	0%	11.1%	3.3%	14.4%
理論	3	16	12	31
割合	2.9%	15.2%	11.4%	29.5%
実践	0	10	1	11
割合	0%	6.7%	0.7%	7.3%

することを心がけ、なるべく多くの問題を解くことです。

2) 一般問題の「薬学理論問題」は、第97回国家試験や模擬試験を見ても、正答率が最も低いという結果でした。C B Tの問題に比べ、文章が長くポイ

ントをつかみにくく読解力を必要とするためだと思います。しかし「薬学理論問題」での既出問題出題率は高く30%でした(表3)。直前期の「薬学理論問題」の有効な勉強法は、7~8年分の既出問題をしっかり暗記するのではなく、周辺の事項を理解しながら勉強を進めることです。大きな得点源になったと思われます。

3) 一般問題の「薬学実践問題」は、症例や事例を挙げて臨床の現場で薬剤師が直面する問題を抽出・解決するた

めの資質を問う問題で、実践力・総合力・基礎力を確認する出題です。「複合問題」や実践的な問題である「実務」は、ともに医療現場を経験しなければ解けない「長期実務実習」の成果を意識した実践的な問題、薬剤師から医師への提案や今後薬剤師が取り組まなければならない事例などが出題されます。また複合問題は、実務と他の領域の連問です。今まで全領域を勉強していますから、直前期こそ患者背景や他の領域との関連を理解する等を考えながら問題を解きましょう。解くことで出題パターンがつかめます。

度、衛生、製剤学、機能形態学、薬理学など比較的覚えることが多い科目は、特にこの時期に勉強してください。

前記に挙げた、苦手領域・苦手項目や得点源になる科目ばかりを勉強していると、得意科目を忘れることがあります。この時期は、もう一度総復習することが効率的です。理解したことは記憶に残りやすいのですが、覚えたことは忘れるのですから、繰り返すことが大切です。

先ほども記しましたが繰り返すことで、自分の知識として定着するのです。しかし一度は勉強したところですから、端から復習するのではなく、国家試験によく出題される重要項目を中心に勉強してください。学内や予備校などで行われる「直前講座」は、とても有効な勉強方法です。また重要項目やヤマを教えてください。

薬剤師国家試験は、「薬剤師になるべき知識、技能及び態度を習得し、医療人として求められる資質を見極める試験」ですから、決してやさしいものではありません。しっかりと知識を身につける必要があります。第97回は少しやさしい試験でしたが、第98回は難しくなると考えられます。

①必須問題の難易度は上昇すると思います。

②複合問題は、良問が増えて少し難しくなるのではないのでしょうか。

③長期実務実習の成果を問う問題がさらに多くなるように思います。

④第97回では、出題基準に新たに掲載されたものがあまり出題されていませんが、第98回では新傾向の問題が出題されると思います。

⑤症例問題、検査値に関する問題は増え、難しくなるように思います。

合格をつかむ直前期の取り組み法

1) 苦手領域・苦手項目をなくす

国家試験には足切りがあります。合格するには、総点だけでなく、各領域に設定されている足切りに注意しなければいけません。全総点で合格ライン(65%)を満たしていても、「必須問題」の総点で合格ライン(70%)を満たしていても、各領域ごとに合格ラインがあるため、苦手領域があると足切りにかかって不合格になることがあります。

第97回を見ても各領域からまんべんなく出題されています。第97回では、「衛生」の足切りで不合格になった方がたくさんいました。苦手領域が存在することは絶対に避けなければいけません。苦手領域の克服には次に挙げる模擬試験の活用が有効です。

2) 模擬試験を活用する

直前期の模擬試験には、合格に貴重な情報があります。

①模擬試験を苦手領域・苦手項目の把握に使ってください。勉強のコツは

全国の60%以上の受験者が解けて、自分が解けなかった問題があったらそれが苦手領域・苦手項目です。その領域・項目を参考書や問題集に戻って勉強してください。解けなかった問題は、調べることでさらに理解力が高まります。

②2月の全国統一模擬試験は、全国

3) 既出問題を解く

既出問題の出題率は20%程度ですが、新薬剤師国家試験における既出問題が十分に蓄積されるまでの間の活用割合はその限りではありません。

表3のように第97回では、全体の20%、「薬学理論問題」においては、約30%が再出題および類似問題として出題されました。直前期は、問題をたくさん解くことが大切です。出題頻度の高い7~8年分は必ず解いてください。第97回から解き始め、何回も繰り返し解くことで頭に残ります。解けた問題には時間をかけず、解けなかった問題は、参考書などで調べて要

の約98%の方が受験します。自分が現在どのレベルにいて、合格に到達するにはどこをどのように勉強したらよいか、対策が立てられます。自分の実力を知るチャンスですから、真剣に受験することをお勧めします。

③「複合問題」は、問題のパターンになれることや科目の壁を越えた知識が関連づけられるチャンスです。

また「新傾向の問題」に触れるチャンスでもあります。

直前期に得点源になる科目を勉強する

点を理解しましょう。答えを暗記するのではなく、他の領域と関連づけながら解くと応用力が養われ、全般的な知識のブラッシュアップができます。

この時期に、苦手な方も多く基礎学力を必要とする有機化学や物理化学など基礎を、時間をかけてたくさん勉強しても飛躍的に伸びるものではありません。

しかし、法規・制

最後は総復習が大切

株式会社ココカラファイングループ

薬 セイジョー

株式会社セイジョー



フードケア
カウンセラー



エステシヤン



在宅医療



店長



薬局長

より多くの患者さま・お客さまの健康をサポートするために
おもてなしNo.1になる

高齢者や独身の方々・核家族が増えつつある今、健康について気軽に相談できる場所が求められています。

セイジョーが展開するヘルスケアストアは、そんな地域のコミュニケーションの場となり、 Medikationのみではなく、美容・食・介護など、様々な「おもてなし」を提供しています。セイジョーでは、専門知識を持つ薬剤師・管理栄養士の活躍するフィールドがますます広がっています。

先輩VOICE

「薬のプロ」としての会話を磨ける職場です。

患者さまとお話しする時は、安心感を持っていただけるよう、患者さまの姿勢に応じて、同じ目線の高さになるようにしてお話しします。また、患者さまが何を望まれているか、会話から察することも必須となります。不安を抱えた患者さまに、少しでも安らいだ気持ちで家路についていただけるよう、「薬のプロ」として「お薬を渡すだけ」で終わらない関係を築いていきたいと考えています。

薬 セイジョー

<http://www.seijo.co.jp/> TEL.0120-89-7009

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル 6F